

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和6年3月14日

下関短期大学付属第二幼稚園

1 本園の教育目標

「自分で、また仲間と考え、決めて、挑戦する子どもを育成する。」

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・ 教職員の教育力・保育力の向上を図る。
- ・ 教職員の危機管理能力の向上を図る。
- ・ 中期計画に基づいた取組の継続。

3 評価項目の達成及び取組状況

	評価項目	評価	取組状況
1	教職員の教育力・保育力の向上を図る。	A	短大保育学科を招いて2度の研究保育を実施 教職員は一人最低2回の園外研修に参加
2	教職員の危機管理能力の向上を図る。	A	園経営、サービス、教育保育に係るすべての危機に対する全危機管理マニュアルを策定作業完了
3	中期計画に基づいた取組の継続	A	地域参加、地域貢献（清掃活動、ひこまる、わくわく山開放、工作教室、どんど焼き等）

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4 総合的な評価結果

評価	理由
A	Web アンケートにもかかわらず88%の回収率を得たというのが、保護者が園に信頼を寄せている証拠であり、それは、園の取組が精力的かつ適切で、成果の表れだといえる。

5 次年度取り組む課題

	課題	具体的な取組方法
1	令和2年度に作成した本園の教育課程の見直しを図り再編成する。	・ 誰が見てもわかりやすいように、年齢を追って見られる具体的な姿の例を5領域で示す。 ・ 5歳児については、小学校との連携のもと「架け橋プログラム」を教育課程に位置付ける。
2	教職員研修を推進する。	・ 短大保育学科、第一幼稚園とのトライアングル体制を構築し、研究をより深める。 ・ 互見保育、実技研修、自主勉強会を推進し、資質のさらなる向上を図る。

6 学校関係者評価委員の評価

今年度作成した危機管理マニュアルは素晴らしい。園や地域の実態に応じたオリジナルのもので、実用的なものになっている。今後も更新を重ねながら、活用して行ってほしい。

地域参加・地域貢献も素晴らしい。今後も続けて行ってほしいし、さらにしめ飾りや門松、凧あげなど、地域と連携を取りながら前向きに検討してほしい。

アンケートの中で、「よくわからない」の回答が一番多かった「教育・保育の内容」については、次年度作成される「具体例」に期待するが、指導者の意識と発信力も大事。